


BURN YOUR BRIDGES BEHIND YOU : 背水の陣を敷こう

4月に入っても時間がどんどん過ぎていく。3年生になって、バタバタする中で、少しずつ蒸し暑くなってきている。猫ももう毛布では寝ない季節になった。3年生の始まりは、みんなにとって、それぞれどんなものだろう？調子良く転がり始めただろうか？

ところで、この前テレビを見てみると、"Based on a true story"(実話に基づいた)と何やら格好良さげな映画のトレーラー (trailer:予告編)が始まった。「ん？何の映画やる？」と思って見入っていると、いきなり調子が変わって、「おっばいバレー」とタイトルが出て来て、丁寧なことにそのタイトルを声に出して読んでくれた。「『おっばいバレー...』？なんじゃ、そらぁ？ねえ。」と猫と顔を見合わせた。(このタイトルからは想像出来ない感動のストーリーらしい。)詳しい内容は判らないが、時代は1979年。北九州のある中学校のバレエ部のお話だそう。新任国語教師として赴任した中学校の弱小チームの男子バレエ部顧問役に「綾瀬はるか」が奮闘するらしい。部員は「1勝したら、先生のおっばいを見せて下さい。」と約束をせがむ。そんなところから、こんな素敵タイトルになったのだろう。映画の中ではバレエ部員が「これが叶うのなら、もっと頑張れる。」と「おっばい見るぞー、おー！」だとかやっていた。「おまえ達や、それでいいとかぁ...」と思ったが、動機がどんなものにしても、何かに対して頑張ろうとするのは、それはそれで美しい姿なのかもなぁと思ったりもした。

この映画のことはさておき、個人的には、何かを交換条件に頑張るといのはどうも違う気がする。例えば、「高校に受かったら携帯を買って貰える。」というのもその類だ。携帯と高校合格など関連性は無いし、因果関係を見つけることの方がずっと難しい。「～をして貰えるから、～を頑張る」に慣れてしまうと、無意識にも何かを期待したり、逆に「～してあげたのに...」と損をした気持ちになったり、裏切られたと思ったりするものだ。自分自身の失敗に関して、自分以外のどこか他に原因を見つけようとしたり、常に他人のせいにしてしまったり、逆切れしてみたりする者もいる。「運が良い人も悪い人もいない。運が良いとか悪いと思う人がいるだけだ。」という表現があったりする。(とは言っても、運は立派な実力のうちだと私は思っているが。)今年も、3年生154人がそれぞれの方向に向かう。自分自身について、深く深く考える時期でもある筈だし、自分を知らうとすることが大人への重要な通過点であったりもする。自分の行くべきところに照準を合わせ、自分の力を見極め、(何の見返りが無くても)出来る最大限の努力をして、最後にニコニコしよう。

見返りのある映画の世界でも、「そんな簡単に見れると思ったら、大間違いよ！」と綾瀬はるかが活を入れている。要するに、出来る無理はせよということだ。一緒に頑張ろう。

32HR 担任 M.T. 

週行事予定表 (4 / 1 8 ~ 5 / 6)

月	日	曜	行 事 予 定	備 考
4	18	土	全統マーク模試	7:25着席完了
	19	日		
	20	月	第1回読書推進週間、身体計測、検尿(～21)	7:25着席完了
	21	火	各種委員会	7:25着席完了
	22	水		7:25着席完了
	23	木		7:25着席完了
	24	金	P T A 総会準備、大清掃	7:25着席完了
	25	土	P T A 総会	8:15着席完了
	26	日		
	27	月	代休日	
	28	火		7:25着席完了
	29	水	昭和の日	
	30	木	自転車点検	7:25着席完了
5	1	金	無限会	着席完了未定
	2	土		

3	日	憲法記念日		
4	月	みどりの日		
5	火	こどもの日		
6	水	振替休日		